

苫小牧市スポーツ推進計画 施策事業について

活気みなぎる「スポーツ都市」とまこまい
～スポーツを愛し、市民が活気あふれるまちへ～

- ① 令和5年度事業実績（見込み）
- ② 令和6年度事業予定



No. 1 市民スポーツ祭の開催

事業の目的

各種競技の市民スポーツ祭を開催し、幅広い市民に参加の機会を与え、スポーツの面白さと併せて健康な体づくりに寄与することを目的とする。

事業1 各種市民スポーツ祭の開催

- 内 容
市民を対象とした各種スポーツ大会を開催



事業名	R5年度実績	R6年度予定
フロアカーリング大会	45人	ポッチャ交流大会を新規事業として追加予定
バドミントン大会	110人	
パークゴルフ交流大会	193人	
スポンジテニス交流大会	28人	
卓球大会	212人	
ソフトテニス大会	279人	
合計	867人	



令和5年度事業評価

B（概ね順調に実施）

No.2 ウォーキング事業の開催

事業の目的

ウォーキングを通じて、市民の健康づくりと体力づくりを進めるとともに、苫小牧の自然あふれるウォーキングコースを歩くことで、まちの魅力の再発見や郷土愛を深める。

事業1 ウォーキングスタンプラリー

- 内容：参加者各自で設定したコースをウォーキングし、公共施設でスタンプをもらい、15個貯めるととまちヨッピーポイントを付与

	R5年度実績	R6年度予定
期間	6月～9月	同内容で実施予定
参加者	390人	

事業2 ウォーキングフェスティバル

- 内容：10月上旬に開催
10km・5kmのコースを設定
参加賞を贈呈
とまちヨッピーポイントを付与
令和6年度は健康支援課と協力し、事業を行う予定

	R5年度実績	R6年度予定
開催日	令和5年10月7日	内容等を変更し実施予定
場所	緑ヶ丘公園周辺	
参加者	173人	

令和5年度事業評価

A（順調に実施）



No.3 アールビーズとの協働事業

事業の目的

ランニングやウォーキングを中心としたスポーツ事業や社会貢献活動を実施している(株)アールビーズとの協働事業を展開し、本市のスポーツ振興と市民の健康づくりを推進する。

事業1 協働事業の展開

- 内容
包括連携協定を締結し、ランニングやウォーキング等を通じた事業
- 連携事項
 - ・スポーツをする子どもの増加と体力の向上に関すること
 - ・成人のスポーツ実施者の増加に関すること
 - ・障がいのある人のスポーツ参加者の増加に関すること
 - ・手軽に参加できるスポーツ環境の整備に関すること
 - ・イベント等を通じた地域活性化に関すること

	R5年度実績	R6年度事業予定
実施内容	○オクトーバーラン&ウォーキング 【令和5年10月1日～31日実施】 ・ウォーキングの歩数やランニングの距離をスマートフォンアプリを使用し、全国の自治体と競うオンラインイベント ※苫小牧30Kマラソンは、アールビーズの都合により、中止	同内容で実施予定 ※苫小牧30Kマラソンの開催については、今後アールビーズと協議

令和5年度事業評価

C（やや遅れて実施）



No. 4 スポーツフェスティバルの開催

事業の目的

スポーツ都市宣言のまち苫小牧において、スポーツを「みる」、ボランティアの「ささえる」、活動を通して「する」等により、市民のスポーツへの興味が喚起される機会を創出する。

事業 1 スポーツフェスティバル

●内 容

- ・市民大運動会
企業対抗パン食いリレー、こどもチャレンジ、スポーツ玉入れ
- ・スポーツ体験会
体操、ボルダリング、パラスポーツ、スケートボード、野球スキルコンテスト、ピラティス、アーチェリー等
- ・スポーツ発表会
バトンダンス、メガダンス・ラディカルパワー、レバンガ北海道等
- ・スポーツEXPO
スポーツ関連企業の出店

	R5年度実績	R6年度予定
開催日	令和5年10月15日	令和6年10月14日
場 所	総合体育館	総合体育館
参加者	3,345人	



令和5年度事業評価

A (順調に実施)

No. 5 市民スポーツ開放事業（学校開放事業）

事業の目的

小・中学校の体育館や校庭を学校教育活動に支障のない範囲で解放し、スポーツ活動や社会教育に活用する。

事業 1 市民スポーツ開放事業

	R5年度実績	R6年度予定
小学校	21校	21校
中学校	3校	2校

令和5年度事業評価

A (順調に実施)

No. 6 児童の健全育成

事業の目的

市内各児童センターにおいて、児童が遊びを通して運動に親しむ習慣の形成や体力の増進を図る。また、それらの活動を通じて児童センターの利用促進を図る。

事業 1 児童センターの運動事業

	R5年度実績	R6年度予定
内容	・ボール遊び等の運動実施 ・来館者12,630人 (7館合計)	同内容で実施予定

令和5年度事業評価

A (順調に実施)

No.7 スポーツ施設利用者・スポーツイベント参加者へのポイント付与

事業の目的

市のスポーツ施設利用者やスポーツイベント参加者に対して商業施設等で利用できるポイントを付与し、スポーツへの参加を促進する。

事業1 とまチョップポイント付与

	R5年度実績	R6年度予定
内容	各種スポーツイベント事業の参加者にポイント付与	同内容で実施予定

令和5年度事業評価

A (順調に実施)

No.8 スポーツに関する情報発信

事業の目的

子どもが対象となる行事案内を毎月、各公共施設に配布し、スポーツの振興や生涯学習の機会の充実を図る。

事業1 子どものための行事案内

	R5年度実績	R6年度予定
内容	毎月、行事案内を小・中学校、保育園、幼稚園、公共施設に配布するとともに、ホームページ等で情報提供	同内容で実施予定

令和5年度事業評価

A (順調に実施)

No.9 青少年スポーツ振興事業

事業の目的

少年団等の活動内容を紹介する動画をインターネット等で配信し、競技人口の底上げを図るとともに、スポーツを通じた健康や体力づくり、地域スポーツの振興を推進する。

事業1 スポーツ団体の紹介動画作成・配信

●内容

【動画について】

少年団等の練習や選手・監督を取材し紹介するほか、練習スケジュールや会費などの情報を提供

【配信について】

スポーツ少年団・総合型地域スポーツクラブ、同好会等を対象に、年間8団体程度を市公式YouTubeにて配信

	R5年度実績	R6年度予定
内容	8団体を取材	同内容で実施予定



事業2 全国初スポーツ都市宣言のロゴ作成

●内容

全国で初めてスポーツ都市宣言を行ったことを周知するため、ロゴを作成し、ステッカー及びクリアファイルを取材協力団体へ配布



令和5年度事業評価

B (概ね順調に実施)

No.10 苫小牧市老人クラブ連合会への補助

事業の目的

お年寄りの健康づくりと友愛、交流を深めるため、苫小牧市老人クラブ連合会主催の「老人オリンピック」に係る費用の一部を助成する。

事業 1 老人オリンピックの開催

令和5年度事業評価

D (未実施)

	R5年度実績	R6年度予定
内容	中止	内容等を変更し実施予定

No.11 70歳以上の方へのスポーツ施設無料利用券発行

事業の目的

市内在住の70歳以上の方にスポーツ施設無料利用券を発行し、健康づくりや体力づくり、生きがいづくりを図る。

事業 1 スポーツ施設無料利用券の発行

令和5年度事業評価

A (順調に実施)

	R5年度実績	R6年度予定
内容	スポーツ施設13施設の無料利用券を発行	同内容で実施中

No.12 保健センターを利用した運動教室・講座

事業の目的

健康づくりに関する教室・講座を開催し、市民の健康増進を図る。

事業 1 教室・講座等の開催

令和5年度事業評価

B (概ね順調に実施)

	R5年度実績	R6年度予定
内容	健康づくり教室、運動教室、栄養教室、健康栄養相談等を実施	同内容で実施中

No.13 健康に関するイベント実施

事業の目的

健康づくりの契機となる事業を開催し、市民一人ひとりが健康を意識し、継続的に健康づくりに取り組むことができるよう、生活習慣改善の意識づけを図る。

事業 1 「健考・健幸DAY」の開催

令和5年度事業評価

A (順調に実施)

	R5年度実績	R6年度予定
内容	【令和5年10月27日】実施 ・働き世代を対象にRIZAPオンラインセミナーを実施 ・来場63人/Web37人参加	内容等を変更し実施予定

No.14 とまこまいマラソン大会の開催

事業の目的

多くの方々が参加することができるマラソン大会の開催を通じて、健康でたくましい心と体をつくり、豊かで明るいまちづくりをすすめる。

事業1 とまこまいマラソン大会

●内容

- ・勇払地区を会場に3部門構成のマラソン大会を実施
 - ①ハーフマラソン コース
 - ②10km コース
 - ③2kmファンラン コース
- ・プロランナーによる走り方講座の実施
- ・キッチンカー等のイベントブースを設置

	R5年度実績	R6年度予定
開催日	令和5年7月9日	同内容で実施予定
場 所	勇払地区及び周辺道路	
参加者	942人	

令和5年度事業評価

A (順調に実施)



No.15 八地区スポーツフェスティバルへの支援

事業の目的

市内を8地区に分け、身近な地域で開催する地区スポーツフェスティバルの運営費を補助し、気軽にスポーツに参加できる機会を提供する。

事業1 八地区スポーツフェスティバルの開催

●内容

スポーツ推進委員会を中心に、各地区で実行委員会等を組織し、ウォーキングやフロアカーリングのほか、各レクリエーション競技を実施

- ・各地区実行委員会へ運営費7万円を補助



令和5年度事業評価

B (概ね順調に実施)

	R5年度実績 (見込み)		R6年度予定
	実施種目	参加者	
錦岡地区	フロアカーリング ポッチャ	54人	同内容で実施予定
糸井地区	ウォーキング等 フロアカーリング	170人	
中央東地区	中止		
中央南地区	ウォーキング モルック	108人	
中央西地区	フロアカーリング パークゴルフ	71人	
中央北地区	スポーツフェスティバル フロアカーリング	308人	
沼ノ端地区	ソフトボール ウォーキング ミニバレー ホーキングホッケー	集計中	
勇払地区	パークゴルフ	32人	

No.16 小学校低学年アイスホッケーチャレンジカップ大会の開催

事業の目的

小学校低学年を対象としたアイスホッケー大会を開催し、競技の楽しさ・面白さを伝え普及を図る。

事業1 Jr.アイスホッケー チャレンジカップの開催

- 内容
小学生アイスホッケー同好会連合会の4年生以下を対象とした大会を開催



令和5年度事業評価

A (順調に実施)

	R5年度実績	R6年度予定
開催日	令和5年12月2日 ～10日	同内容で実施予定
参加チーム	4チーム	
参加者	79名	



No.17 氷上スポーツ育成事業

事業の目的

幼児や小学校低学年が対象となる、氷上スポーツ体験教室の開催や実施を支援し、競技人口の底辺拡大と子どもの体力向上を目的とする。

事業1 スケートエンジョイスクール

- 内容
遊びやゲームを通じて、基礎を学ぶ
(1)「スケートコース」 対象：4歳～6歳
(2)「アイスホッケーコース」 対象：4歳～6歳
(3)「小学生アイスホッケーコース」 対象：小1～小4

事業2 スピードスケート体験教室

- 内容
遊びやゲームを通じて、基礎を学ぶ

事業3 幼児対象氷上スポーツ助成

- 内容
幼稚園等がスケートリンクで行う氷上スポーツ行事の費用を3万円まで助成

令和5年度事業評価

A (順調に実施)

		R5年度実績		R6年度予定	
		参加者	回数	定員	回数
スケート	nepia	32人	12回	40人	12回
	ダイナックス	29人	12回	40人	12回
	新ときわ	18人	12回	40人	12回
アイスホッケー	nepia	25人	12回	30人	12回
	ダイナックス	11人	12回	30人	12回
	新ときわ※	14人	5回	20人	12回
小学生アイスホッケー	nepia	37人	12回	40人	12回

※防具、スティックを身につけ体験するコース

	R5年度実績		R6年度予定	
	参加者	回数	参加者	回数
スピードスケート体験教室	12人	15回	40人	14回

	R5年度実績	R6年度予定
助成内訳	22団体	20団体
助成金額	511,100円 (R6.2現在)	555,000円

No.18 町内会スケートリンク経費助成

事業の目的

身近な地域で気軽にスケートを楽しめる環境をつくるため、町内会に対してスケートリンク設置経費を補助する。

事業 1 町内会スケートリンク経費助成

●内 容

町内会が実施するスケートリンク設置事業に対し、1リンク62,750円を上限に助成



令和5年度事業評価

B (概ね順調に実施)

	R5年度実績	R6年度予定
助成町内会	2町内会	6町内会
助成金額	125,500円	377,000円

No.19 スポーツイベントの情報発信

事業の目的

各スポーツ施設のイベント情報を市の広報媒体で広く発信し、市民のスポーツへの参加を推進する。

事業 1 スポーツイベントの情報発信

令和5年度事業評価

A (順調に実施)

	R5年度実績	R6年度予定
内容	市ホームページ、広報とまこまい、SNSを活用し随時、スポーツイベントの情報を発信	同内容で実施中

No.20 スポーツ団体に関する情報発信

事業の目的

年に1回サークルガイドを作成し、スポーツのほか文化・芸術等の団体一覧を公共施設や市ホームページ等で情報提供し、生涯学習に取り組む機会を提供する。

事業 1 サークルガイドの作成

令和5年度事業評価

A (順調に実施)

	R5年度実績	R6年度予定
内容	毎年6月にサークルガイドを作成し、公共施設への配布のほか、市ホームページ等で情報提供	同内容で実施中

No.21 全国高等学校選抜アイスホッケー大会の開催

事業の目的

「氷上の甲子園」と呼ばれる、インターハイと並ぶ全国大会を開催し、アイスホッケータウンとしての知名度向上や全国的な競技の振興を図る。

事業1 全国高等学校選抜アイスホッケー大会の開催（実行委員会補助）

- 会場
 - ・nepiaアイスアリーナ
 - ・ダイナックス沼ノ端アイスアリーナ
 - ・新ときわスケートセンター
- 出場枠
 - ・各都道府県1チーム
 - ※ただし、活動の多い地域として北海道10チーム、青森2チーム、東京2チーム
- その他
 - ・敗者戦を設け、全チーム2試合以上を確保
 - ・市外チームを対象に、大会前に合宿枠等を設け、無料でリンク貸出

	R5年度実績	R6年度予定
日程	【第18回大会】 令和5年8月11日～16日	【第19回大会】 令和6年7月30日～8月4日
参加チーム	29チーム	28チーム
参加者	選手・関係者 685人 大会役員 149人 合計 834人	選手・関係者 700名 大会役員 200名 合計 900名
観客数	6,492人	8,000人
補助金額	5,000,000円	5,000,000円



令和5年度事業評価

A（順調に実施）

No.22 全国・全道大会開催誘致活動

事業の目的

本市の魅力をもとに道内外に情報発信するとともに、補助金制度により各種スポーツの全国・全道大会の開催を誘致し、地域の活性化を図る。

事業1 全国・全道スポーツ大会開催運営費補助金

- 内容

本市で開催されるスポーツ競技の全国及び全道大会への補助

【対象となる大会】

(1)主に小学生、中学生、高校生、高専生、大学生を対象とした大会であること。

(2)次の団体が主催する大会であること。

 - ①（公財）日本スポーツ協会加盟の競技団体
 - ②全国中学校体育連盟及び北海道中学校体育連盟
 - ③（公財）全国高等学校体育連盟及び北海道高等学校体育連盟
 - ④全国高等学校野球連盟及び北海道高等学校野球連盟

	R5年度実績	R6年度予定
補助大会数	全道 8大会	全道11大会
補助額	1,095,000円	1,650,000円



令和5年度事業評価

B（概ね順調に実施）

No.23 令和5年度全国高等学校総合体育大会の開催

事業の目的

高校生スポーツ最大の祭典である全国高等学校総合体育大会（インターハイ）のソフトテニス競技大会及びテニス競技大会を開催する。

事業 1 令和5年度全国高等学校総合体育大会 ソフトテニス・テニス競技大会の開催 (実行委員会補助)

競技 1 ソフトテニス競技

- 日程 令和5年7月22日(土)～29日(土)
- 会場 開会式 市民会館
競技会場 緑ヶ丘公園庭球場
- 参加者 選手・監督コーチ等 2,015人
観客数 10,700人

令和5年度実行委員会補助額 15,319,559円

競技 2 テニス競技

- 日程 令和5年7月31日(月)～8月7日(月)
- 会場 開会式 市民会館
競技会場 緑ヶ丘公園庭球場
千歳市青葉公園庭球場
- 参加者 選手・監督コーチ等 744人
観客数 7,100人



令和5年度事業評価

A (順調に実施)

No.24 第78回国民スポーツ大会冬季大会(スケート・アイスホッケー)の開催

事業の目的

国民の間にスポーツを普及し、スポーツ精神を高揚して国民の健康増進と体力の向上を図り、併せて地方スポーツ推進と地方文化発展への寄与等を目的に大会を開催する。

事業 1 第78回国民スポーツ大会冬季大会 スケート競技会・アイスホッケー競技会の開催 (実行委員会補助)

●競技・会場・日程

開始式	苫小牧市民会館	令和6年1月27日
スピードスケート	ハイランドスポーツセンター	令和6年1月28日～1月31日
ショートトラック	新とぎわスケートセンター	令和6年1月28日～1月29日
フィギュアスケート	nepiaアイスアリーナ	令和6年1月28日～1月31日
アイスホッケー	nepiaアイスアリーナ ダイナックス沼ノ端アイスアリーナ 新とぎわスケートセンター	令和6年1月30日～2月3日

●大会参加者数

2,282人(選手・監督1,734人 大会役員等548人)

●令和5年度実行委員会補助額

34,465,000円



令和5年度事業評価

A (順調に実施)

No.25 スポーツ合宿等助成

事業の目的

スポーツ合宿を実施する市外の団体に対して経費の一部を補助し、誘致を図るとともに、地域の活性化や競技力の向上につなげる。

事業1 苫小牧市スポーツ合宿等補助金

- 要件
 - ◎苫小牧市内の宿泊施設とスポーツ施設を利用
 - ◎(参加者数)×(宿泊日数)が5泊以上
 - ◎原則練習等を公開し、市民等に見学を可能にしている
 - ◎非営利目的
- 助成額(一人1泊あたり)
 - ◎一般スポーツ団体 1,000円
 - ◎中央競技団体 2,000円
- 上限額
 - ◎一般スポーツ団体 100,000円
 - ◎中央競技団体 200,000円

	R5年度実績(見込み)	R6年度予定
合宿件数	86件 (R6.2月末現在)	129件(予算)
補助金額	5,042,000円	10,000,000円(予算)



令和5年度事業評価

A(順調に実施)

No.26 スポーツ合宿の誘致活動

事業の目的

MICE誘致推進協議会により、本市の優位性をPRし、市外の団体等の合宿を誘致する。

事業1 合宿誘致セールス等の実施

- 内容
 - 首都圏の競技団体等を中心に合宿の誘致セールスを実施
 - また、合宿を実施した団体には、歓迎品として、スポーツドリンク等を進呈
- 実施主体
 - 苫小牧市MICE誘致推進協議会(事務局:観光協会)
 - 主な構成員
 - ・観光協会
 - ・商工会議所
 - ・苫小牧市(観光振興課・スポーツ都市推進課)
 - ・苫小牧市スポーツ協会
 - ・旅行取扱業

	R5年度実績	R6年度予定
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・チラシ等を配布しPRを実施 ・2月にスポーツ合宿の誘致にかかるセールスを実施(東京都) 	同内容で実施中

苫小牧合宿の特長



令和5年度事業評価

B(概ね順調に実施)

No.27 アイスホッケー競技NTC事業の推進

事業の目的

ナショナルトレーニングセンター強化拠点指定施設になっている、nepiaアイスアリーナのトレーニング環境の整備等を行い、日本アイスホッケー競技のレベルアップを図る。

事業1 中央競技団体による施設利用

●内容

- (1)男子ナショナルチーム強化合宿
- (2)女子ナショナルチーム強化合宿
- (3)男子U18ジュニアチーム強化合宿
- (4)女子U18ジュニアチーム強化合宿
- (5)女子U16ジュニアチーム強化合宿
- (6)女子U12ジュニアチーム強化合宿

	R5年度実績（見込み）	R6年度予定
NTC事業活動日数	175日	同内容で実施予定
事業費	21,193,000円	21,175,000円（予算）

事業2 強化・育成活動

●内容

- (1)ナショナルレベルの競技者の集中的・継続的な強化活動
- (2)競技者育成プログラムに基づくジュニア競技者の育成
- (3)医・科学セミナー講師によるメンタル講習



令和5年度事業評価

A（順調に実施）

No.28 プロスポーツの試合開催

事業の目的

トップレベルのスポーツ観戦の機会をつくり、スポーツが持つ楽しさや感動を共有し、スポーツ人口の増加を図る。

事業1 プロスポーツ等の試合開催

●内容

世界大会やプロスポーツ等の試合開催を誘致し、スポーツを観る機会を創出する。



	R5年度実績	R6年度予定
開催試合等	・アジアリーグアイスホッケー2023-2024	・アジアリーグアイスホッケー2024-2025 ・ニトリレディスゴルフトーナメント



令和5年度事業評価

B（概ね順調に実施）

No.29 スポーツ大会遠征費補助金

事業の目的

全道・全国大会に出場する小学生から大学生の団体・個人に対して、遠征に係る経費の一部助成等を行い、選手のレベルアップはもとより、所属チームなどにも経験を還元し、地域のスポーツ振興につなげる。

事業1 遠征費補助金

●内容

- ①大会：全道・全国大会
- ②対象者：市内在住の小・中学生
⇒交通費7割
+宿泊費3千円/泊
市内在学の高校・大学生等
⇒一律1万円

	R5年度実績	R6年度予定
補助件数	<ul style="list-style-type: none"> ・小学生 21件 ・小、中学生 4件 ・中学生 59件 ・中、高校生 2件 ・高校生 18件 ・大学生 2件 合計 106件 (R6.2月末現在) 	同内容で実施予定
補助金額	16,063,998円	12,104,000円(予算)

事業2 国際大会出場奨励金

●内容

- ①大会：オリンピック、世界選手権等
- ②対象者：市内在住・在学、
市内チームに所属する者
- ③交付額：10万円/人(オリンピック)
5万円/人(世界選手権)
3万円/人(その他、学生のみ)

	R5年度実績	R6年度予定
(1) 補助件数	1件	18件(予定)
(2) 奨励金	30,000円	850,000円(予算)

令和5年度事業評価

A(順調に実施)

No.30 アスリートに対する応援事業

事業の目的

本市ゆかりのアスリートをまち全体で応援し、市民のスポーツへの興味関心を高めることで、スポーツ人口の増加につなげる。

事業1 アスリートに対する応援事業

●内容

市民がアスリートに応援する機運を高めるため、オリンピック・パラリンピック等の出場者への壮行会、メダル受賞者や、プロ野球ドラフト会議指名選手等のセレモニーを実施

	R5年度実績(見込み)	R6年度予定
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・市長表敬訪問 30件 (スポーツ分野) ・横断幕の掲示 	同内容で実施予定



令和5年度事業評価

A(順調に実施)

No.31 スポーツマスター事業

事業の目的

スポーツ分野において輝かしい功績を残した本市ゆかりのアスリートにスポーツマスターの称号を与え、スポーツ教室などを通じて、スポーツの振興を図る。

事業1 スポーツマスターの称号授与

現在のスポーツマスター

●内容

オリンピック・パラリンピックその他の国際的又は全国的な競技会等において輝かしい活躍をし、その功績が特に顕著であるアスリートに対し称号を与える。

	氏名	競技	称号授与日
1	引木 孝夫 氏	アイスホッケー	H 7. 9. 25
2	鈴木 秀太 氏	バスケットボール	H 7. 9. 25
3	高澤 秀昭 氏	野球	H 7. 9. 25
4	山中 宏美 氏	スピードスケート	H 8. 12. 26
5	本間 貞樹 氏	アイスホッケー	H12. 10. 12
6	佐藤 久佳 氏	水泳	H28. 9. 22

事業2 スポーツ教室等の協力

●内容

市や各団体等が主催する講演会、講習会及び実技指導等の事業への協力

	R5年度実績	R6年度予定
スポーツ教室	・水泳教室実施 27名参加 (佐藤スポーツマスター)	同内容で実施予定
スポーツマスター称号授与	-	新スポーツマスター任命予定

令和5年度事業評価

B (概ね順調に実施)



No.32 レッドイーグルス北海道との協働事業

事業の目的

本市をホームタウンとするアイスホッケーチーム「レッドイーグルス北海道」との協働事業を展開し、スポーツ振興及び青少年の健全育成を図る。

事業1 協働事業の展開

●内容

包括連携協定を締結し、学校訪問、若年層への競技指導等を実施

●連携事項

- ・スポーツ振興に関すること
- ・青少年の健全育成に関すること
- ・苫小牧市とレッドイーグルス北海道のPRに関すること
- ・レッドイーグルス北海道に対する活動運営の支援に関すること
- ・レッドイーグルス北海道が実施する地域貢献活動への支援に関すること
- ・レッドイーグルス北海道と市民との交流に関すること
- ・その他地域貢献活動に関すること

	R5年度実績	R6年度予定
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・都市再生コンテンツ創出事業によるホームゲームの支援 ・アイスホッケー教室の開催 ・スケート授業の協力 ・学校、幼稚園訪問 ・著名人の招聘などを通じた来場者促進 ・全国高等学校選抜アイスホッケー大会の演出協力 ・新生児対象オリジナルグッズ配布等 	同内容で実施予定



令和5年度事業評価

A (順調に実施)

No.33 北海道イエロースターズとの協働事業

事業の目的

本市をサブホームタウンとするバレーボールチーム「北海道イエロースターズ」との協働事業を展開し、スポーツ振興及び青少年の健全育成を図る。

事業1 協働事業の展開

●内容

包括連携協定を締結し、バレーボール競技を通じた地域貢献活動の実施

●連携事項

- ・スポーツ振興に関すること
- ・青少年の健全育成に関すること
- ・苫小牧市及び北海道イエロースターズのPRに関すること
- ・北海道イエロースターズに対する応援活動の支援に関すること
- ・北海道イエロースターズが実施する地域貢献活動への支援に関すること
- ・その他地域貢献に関すること

※Safilva北海道は令和5年6月に「北海道イエロースターズ」にチーム名が変更 今後の包括連携協定については調整中

令和5年度事業評価

D (未実施)

	R5年度実績	R6年度予定
実施内容	—	バレーボール教室 実施予定



No.34 青森県八戸市との連携

事業の目的

アイスホッケータウンとして共通点を持つ青森県八戸市と協働事業を展開し、アイスホッケーの競技力向上を図るとともに、フェリー航路での交流人口の拡大を図る。

事業1 小学生アイスホッケー交流試合の実施

●内容

本市と八戸市の両市で開催される、アイスホッケーアジアリーグ「レッドイーグルス北海道」VS「東北フリーブレイズ」の試合に合わせ、毎年相互に、両市の小学生選抜チームが訪問し、交流試合を行い、互いの競技力向上を図る。



令和5年度事業評価

A (順調に実施)

	R5年度実績	R6年度予定
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・10月20日～22日に実施 ・本市の小学生選抜チームが八戸市を訪問し、フラット八戸にて、「東北フリーブレイズvs「レッドイーグルス北海道」の試合を観戦 ・交流試合や八戸市内施設の見学を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・八戸市小学生選抜チームが本市を訪れ同内容の事業を実施予定



No.35 北海道応援大使プロジェクト

事業の目的

北海道日本ハムファイターズの協力を得て、スポーツを観る、応援する市民の拡大を図るとともに、北海道ボールパークで開催される試合で本市のPRを行う。

事業1 「北海道応援大使プロジェクト」提供サービスの利用

●内容

【苫小牧市民応援デーの開催】

- ・令和5年5月16日実施
- ・市民を対象に抽選で公式戦無料招待

【ヒーロー賞贈呈】

- ・ファイターズ主催試合においてヒーロー賞
 - ・受賞選手に本市特産品やふるさと納税返礼品を贈呈し、本市の魅力をもPR
- 第1回 4月20日 ネピecoトイレットロール
 第2回 5月31日 スモークサーモン他
 第3回 9月1日 ネピecoトイレットロール

【選手交流会2023の開催】

- ◎学校訪問
 - ・令和5年11月21日実施
 - ・北光小学校を会場に選手2名が児童と交流
- ◎トークショー
 - ・令和5年11月21日実施
 - ・北洋大学を会場に選手3名によるトークショー
 - ・412名来場



令和5年度事業評価

A (順調に実施)

No.36 スポーツ推進委員会活動

事業の目的

各種会議へ参加しスポーツの学びを深め、市主催・共催事業への協力、フロアカーリング等の老若男女が楽しめるスポーツイベントの企画等を実施し、地域スポーツの普及・推進を図る。

事業1 定例会議の開催や活動の支援

●苫小牧市スポーツ推進委員

スポーツ基本法第32条に基づく、市の非常勤職員（任期は2年）

※現委員

- ・人数：38人
- ・任期：令和4年4月1日～令和6年3月31日
2年ごとに改選

●主な活動内容

地域におけるスポーツ事業の運営や指導、マラソン大会やスケートまつり、市主催事業、出前講座等の協力

	R5年度実績	R6年度予定
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・定例会議 ・スポーツ推進委員研修会 ・北海道スポーツ推進委員研究協議会参加 ・全国スポーツ推進委員研究協議会参加 ・胆振管内スポーツ推進委員研修会参加 ・市主催、共催事業への協力等 	同内容で実施予定



令和5年度事業評価

B (概ね順調に実施)

No.37 スポーツボランティアの募集

事業の目的

スポーツイベントやスポーツ大会等を支えるボランティアを募り、スポーツを通じた地域の活性化やスポーツ振興を図る。

事業 1 スポーツイベントへの協力

令和5年度事業評価

B (概ね順調に実施)

	令和5年度実績	令和6年度予定
内容	苫小牧市スポーツ協会がスポーツボランティアの募集を通年で行い、各種スポーツイベントに協力	同内容で実施中

No.38 アスリートフードマイスターの紹介

事業の目的

身体づくりをサポートするアスリートフードマイスターの養成を支援し、スポーツ大会や合宿誘致に向けた環境整備を行う。

事業 1 アスリートフードマイスターの紹介

令和5年度事業評価

B (概ね順調に実施)

	令和5年度実績	令和6年度予定
内容	アスリートフードマイスターの紹介やレシピ等を市ホームページで公開	同内容で実施中

No.39 指定管理者の自主事業の充実

事業の目的

指定管理者による自主事業の充実により、市民の心身の健全な発達、スポーツ振興や施設の利用率向上を図る。

事業 1 指定管理者による自主事業の実施

● 内容

指定管理者が独自に各種教室や大会を開催



	R5年度実績 (見込み)	R6年度予定
内容	参加人数 103,077名 (R3.1月末時点) 主な事業 ・水難救助訓練イベント ・幼児スケート教室 ・スポーツクラブ「LABO SPORTS (ラボスポーツ)」 ・椅子ヨガ&やさしいヨガ 他多数	同内容で実施予定



令和5年度事業評価

B (概ね順調に実施)

No.40 北洋大学との連携

事業の目的

北洋大学の協力を得て市内のスポーツ振興を図る。

事業1 スポーツイベントでの事業協力

●内容

北洋大学の連携・協力の一環として、スポーツ分野における事業協力を実施



	R5年度実績	R6年度予定
内容	【北海道応援大使プロジェクト 選手交流会2023】 ・11月21日日本ハムファイターズ選手トークショーにおける事業協力 ・北洋大学野球部選手が運営に協力 【第78回国民スポーツ大会 冬季大会】 ・学生が運営に協力	各種事業で連携予定

令和5年度事業評価

A (順調に実施)

No.41 パラスポーツ教室

事業の目的

各種教室などを通じて、障がいのある方がスポーツに親しみ、交流していただくことで、社会参加を促進する。
また、健常者に体験していただき、競技に対する理解やふくしの心の育成を図る。

事業1 パラスポーツ教室の開催

●内容

各競技団体等から講師を招き、福祉ふれあいセンターを会場に年間5種目の教室を開催



	R5年度実績	R6年度予定
フライングディスク	27人	同内容で実施予定
ボッチャ	35人	
パラアイスホッケー	17人	
車いすバスケットボール	30人	
フロアカーリング	20人	



令和5年度事業評価

A (順調に実施)

No.42 パラスポーツ体験会

事業の目的

様々なパラスポーツ競技を体験できる事業を通じて、パラスポーツを周知し、競技人口の拡大や障がいへの理解促進につなげる。

事業1 パラスポーツ体験会の開催

●内容

(1)パラスポーツ競技団体等の協力により、各種目のブースを設け、スタンプリーパー方式による競技体験を実施

(2)ボッチャ体験大会やトークショー等も実施



令和5年度事業評価

B (概ね順調に実施)

	R5年度実績 (見込み)	R6年度予定
開催日	令和6年3月16日	令和7年3月15日
会場	総合体育館	総合体育館
実施競技	<ul style="list-style-type: none"> 車いすバスケットボール ボッチャ フライングディスク パラ陸上 サウンドテーブルテニス 車いすソフトボール 	同内容で実施予定
参加者	172人	-



No.43 既存スポーツ施設の改修

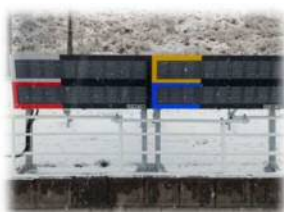
事業の目的

老朽化が進んでいるスポーツ施設を改修・再整備することで、魅力を向上し、より多くの方に利用いただける施設として有効に活用する。

事業1 老朽化した施設や設備等の改修

●内容

老朽化が進んだスポーツ施設の優先順位を定め、計画的な改修・再整備を実施



令和5年度事業評価

B (概ね順調に実施)

	R5年度実績 (見込み)	R6年度予定
内容	<ul style="list-style-type: none"> 少年野球場改修 (ラバーフェンス及びバックネット更新) 国民スポーツ大会競技会場整備 (ハイランドスポーツセンター計測システム、nepiaアイスアリーナ音響設備更新等) 他多数 	<ul style="list-style-type: none"> 陸上競技場改修 (第三種公認継続) nepiaアイスアリーナ館内照明制御システム更新 ダイナックス沼ノ端アイスアリーナ冷凍機設備分解整備 他多数
事業費	427,745,866円	203,927,000円 (予算額)

No.44 スポーツ施設の一体管理

事業の目的

複数のスポーツ施設を1つの指定管理者が一体的に管理することで、施設の効果的・効率的な運営や、利用促進を図る。

事業1 スポーツ施設の一体管理

●内容

スポーツ施設の効果的・効率的な運営のため、指定管理者による一体管理を実施



	R5年度実績（見込み）	R6年度予定
内容	<ul style="list-style-type: none">総合体育館、日吉体育館、川沿公園体育館の一体管理緑ヶ丘公園スポーツ施設（ハイランドスポーツセンター、とましんスタジアム、清水野球場、少年野球場、庭球場、サッカー場、ヤクルト緑ヶ丘陸上競技場）の一体管理	同内容で実施予定



令和5年度事業評価

B（概ね順調に実施）